

災害・オウム対策調査特別委員会 報告資料

令和5年12月15日

報告事項件名	頁
1 アレフ（オウム真理教）対策について	2
2 災害用備蓄包括管理事業の検討状況について	4
3 防災アプリ及び災害ポータルサイトにおける 災害時無線放送（Jアラート）との連携について	6
4 足立区地域防災計画の修正方針等について	7
5 令和5年度足立区震災対応図上訓練について	11
6 令和5年度足立区総合防災訓練の実施結果について	13
7 住区まつりでのコミュニティタイムライン普及啓発の実施結果について	17

(危機管理部)

災害・オウム対策調査特別委員会報告資料

令和5年12月15日

件名	アレフ（オウム真理教）対策について
所管部課名	危機管理部危機管理課
内容	<p>アレフ（オウム真理教）対策について以下のとおり報告する。</p> <p>1 足立入谷地域オウム真理教（アレフ）対策住民協議会の抗議行動（デモ行進）について</p> <p>(1) 日時 令和5年11月25日（土）午後1時</p> <p>(2) 場所 スタート：入谷八丁目公園 ゴール：舎人一号公園</p> <p>(3) 内容 デモ行進及び足立入谷施設前で抗議文の読み上げ・投函</p> <p>(4) 参加者 約130名 内訳 ア 住民協議会役員 イ 足立区長 ウ 足立区議会正副議長 エ 足立区議会オウム真理教対策議員連盟会長 オ 東京都議会オウム真理教対策議員連盟 カ オウム真理教対策国会議員連盟 キ 足立区町会・自治会連合会長 ク 近隣町会・自治会</p> <p>(5) 抗議行動について 新型コロナウイルス感染症も落ち着いたことから、4年ぶりにデモ行進を実施した。当日は、入谷八丁目公園から舎人一号公園までのデモ行進及び施設前での住民協議会役員による抗議文読み上げと投函を行った。</p> <p>2 遺骨等引渡し訴訟に係る区長陳述書の提出について</p> <p>麻原彰晃こと松本智津夫元死刑囚の遺骨等を引き渡すよう次女が国に求めている訴訟において、区長の陳述書を国側から東京地方裁判所に提出した。</p> <p>(1) 陳述書の主な内容 ア アレフ対策に関する足立区及び関係団体等の取り組み イ 施設周辺住民が感じる不安と危機感の速やかな除去 ウ 「聖地化」回避のための国による遺骨等管理の継続</p>

(2) これまでの経緯

令和3年 7月 遺骨等の所有権が次女にあるとする司法判断が確定

令和4年10月 次女が国に遺骨等の引渡しを求めて提訴

令和5年10月 国が東京地方裁判所に区長の陳述書を提出

12月 口頭弁論を実施

(3) 今後の予定

口頭弁論終了後、第一審判決予定

災害・オウム対策調査特別委員会報告資料

令和5年12月15日

件名	災害用備蓄包括管理事業の検討状況について		
所管部課名	危機管理部 総合防災対策室 災害対策課		
内容	令和6年度にプロポーザル実施予定の災害用備蓄包括管理事業について、以下のとおり検討状況を報告する。		
	<p>1 想定する委託業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 備蓄物品等の購入および納品 ② 備蓄物品等に関する専門的な知識等の提案 ③ 備蓄倉庫内における物品の適切な管理 ④ システムによる物品管理 ⑤ 施設の保守作業や樹木の剪定作業 ⑥ 各種運搬業務 ⑦ 災害時拠点としての利用や避難所への迅速な物資輸送等の対応 ⑧ その他必要と認められる業務 		
	<p>2 課題とプロポーザルで改善を目指すこと</p>		
	項目	課題	プロポーザルで改善
【平時】 物品購入・ 納品立ち会い	<ul style="list-style-type: none"> ① 物品購入ごとに契約と納品が必要となり、業者との調整や納品立ち合いが負担 ② 専門家ではないため、常に改善改良が必要な備蓄品に関する知識が十分ではない 	<ul style="list-style-type: none"> ① 契約・納品が一本化され、負担が軽減 ② 専門知識のある業者からの情報などを参考に最良な備蓄品目の拡充・充実の検討が可能 	
【平時】 物品管理	<ul style="list-style-type: none"> ① 物品の管理・効率的な配置と保存状態に課題 ② 物品のシステム管理における国システム等との連携の課題 	<ul style="list-style-type: none"> ① 備蓄倉庫内における適切な管理と備蓄物品に合わせた配置が可能 ② 国システムに合わせた管理が可能となるシステム導入により、物品管理の正確性が増し、平時のみならず災害時にも対応が可能 	

<p>【平時】 施設管理</p>	<p>① 施設の保守作業や備蓄倉庫の樹木剪定等は、都度職員が立ち会いや対応している</p>	<p>① 包括的に委託することで、窓口が一本化</p>
<p>【平時】 運搬</p>	<p>① 普及啓発や訓練などで使用するため、職員が拠点倉庫から学校等へ年間数千箱を運搬しており、重労働かつ負担が大きい</p>	<p>① 包括的に委託することで、計画的かつ効率的に作業が可能となり職員負担を大きく減少</p>
<p>【災害時】 国や都からの支援物資輸送</p>	<p>① 災害時には、協定先機関が避難所等に初めて物資を輸送することになり、迅速性や確実性に欠ける</p> <p>② 区内3か所の地域内輸送拠点は屋根がないため、雨天時等の対応に課題</p>	<p>① 選定事業者と災害協定等を結ぶことにより平時に各避難所等へ納品するため、災害時の物資輸送にも迅速性や確実性が増す</p> <p>② 雨天時にも地域内輸送拠点への輸送が確実に行えるよう、屋内施設の利用等も想定</p>

3 今後の対応

- (1) 事業者へのヒアリングを実施し、仕様書や提案書を作成する。
- (2) 11月の災害・オウム対策調査特別委員会で報告した、2日間の備蓄方針も踏まえた対応を提案書の中で検討する。

災害・オウム対策調査特別委員会報告資料

令和5年12月15日

件名	防災アプリ及び災害ポータルサイトにおける災害時無線放送（Jアラート）との連携について						
所管部課名	危機管理部 総合防災対策室 災害対策課						
内容	<p>防災アプリ及び災害ポータルサイトにおいて、災害時無線放送（Jアラート情報）の連携について以下のとおり改修を行うため、補正予算を計上し、対応する。</p> <p>1 防災アプリ改修概要</p> <p>(1) 防災アプリ及び災害ポータルサイトのトップ画面に災害時の無線放送（Jアラート含む）の表示ボタンを追加する。</p> <p>(2) 災害時に無線放送が発信された際に、内容を文字で表示できるように改める。</p> <p>(3) 多言語翻訳サービスにて、放送内容を多言語化（10言語）して文字で表示できるように改める。</p> <p>(4) 放送内容を合成音声にて、多言語（10言語）で再生できるように改める。</p> <p>(5) 平常時の無線放送についても、災害時の無線放送とあわせてトップ画面の表示ボタンから内容を確認できるよう改修を行う。</p> <p>2 補正予算額</p> <p>(1) 防災アプリ改修費用 12,100,000 円</p> <p>(2) 防災行政無線改修費用 1,540,000 円 合計 13,640,000 円</p> <p>3 防災アプリ改修スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="400 1509 1430 1827"> <tr> <td data-bbox="400 1509 572 1617">令和5年 12月</td> <td data-bbox="572 1509 1430 1617">① 補正予算</td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 1617 572 1724">令和6年 1月～</td> <td data-bbox="572 1617 1430 1724">① 防災アプリ改修作業 ② 防災行政無線改修作業</td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 1724 572 1827">10月 (予定)</td> <td data-bbox="572 1724 1430 1827">① 改修完了し、区民へ防災アプリ改修版をリリース</td> </tr> </table> <p>※ Jアラートは、防災行政無線を経由して防災アプリへ情報伝達される仕組みとなるため、防災行政無線機器においても改修が必要となります。</p>	令和5年 12月	① 補正予算	令和6年 1月～	① 防災アプリ改修作業 ② 防災行政無線改修作業	10月 (予定)	① 改修完了し、区民へ防災アプリ改修版をリリース
令和5年 12月	① 補正予算						
令和6年 1月～	① 防災アプリ改修作業 ② 防災行政無線改修作業						
10月 (予定)	① 改修完了し、区民へ防災アプリ改修版をリリース						

災害・オウム対策調査特別委員会報告資料

令和5年12月15日

件名	足立区地域防災計画の修正方針等について		
所管部課名	危機管理部 総合防災対策室 災害対策課、調整担当課		
内容	足立区地域防災計画の修正方針等について、以下のとおり報告する。		
	1 足立区地域防災計画の修正方針について		
	(1) なぜ修正を行うのか		
	ア 昨年公表された都の被害想定に対する施策を進めていく必要がある。		
	イ 令和5年に改定された都の地域防災計画との整合を図る。		
ウ 区で検討している重要な防災施策や事業の方針を盛り込む。			
(2) 修正のポイント			
ア 関係法令、国や都の計画等との整合			
都の被害想定見直しに伴う区の新たな被害想定を反映			
イ 区の実組状況に応じた対策の強化			
庁内各部の各種取組をブラッシュアップ			
(3) 今後のスケジュール (予定)			
年	月	内容	備考
令和5年	12月	防災会議【第1回】	地域防災計画修正の発議
		関係機関修正依頼	警察署、消防署、協定先等
令和6年	1月	委員会報告①	修正の発議・スケジュール
	6月	素案完成	
	7月	都に意見照会	約2か月
		パブリックコメント実施	政策経営部と調整、約1か月半
	12月	修正案完成	
令和7年	1月	委員会報告②	修正案の提示
	2月	防災会議【第2回】	修正の承認
	3月	完成品の納品等	

2 災害拠点施設に関する検討の方向性について

防災会議で拠点災害備蓄倉庫(※1)及び災害時の地域内輸送拠点(※2)について、検討の方向性を提示する。

※1 災害に備えた食糧や資機材等を備蓄している大規模な倉庫

※2 国や都からの支援物資の受入れ、配分等を行う物資集積場所

(1) 拠点災害備蓄倉庫(別紙1、別紙2参照)

区内に7か所ある拠点災害備蓄倉庫は、建物の老朽化や浸水する可能性(保木間拠点備蓄倉庫を除く6か所)がある等の課題を有している。

こうした課題の解消に向けて、以下の内容で検討している。

ア 「緊急輸送道路に近い」「必要な敷地面積を確保できる」等の観点から、現在7か所ある拠点災害備蓄倉庫を3か所に集約する。

イ 拠点災害備蓄倉庫は、旧入谷南小学校跡地、保木間災害備蓄倉庫、区内東部の中川エリアで1か所の計3か所に集約を図る。

ウ スケジュールについては、令和6年度を目途に検討していく。

(2) 災害時の地域内輸送拠点(別紙1、別紙2参照)

ア 区の地域内輸送拠点

(ア) 都立舎人公園

(イ) 区立保木間公園

(ウ) 都立東綾瀬公園

イ 地域内輸送拠点が抱える問題点

(ア) 屋外スペースのため、物資が風雨にさらされる。

(イ) テントを張るなど開設に時間を要する。

(ウ) 風雨の中、物資の荷下ろしや仕分け作業を行う可能性がある。

(エ) 物資の避難所への輸送が遅れるおそれがある。

ウ 今後の方針

(ア) 上記3か所の地域内輸送拠点としての機能は、十分でないため、旧入谷南小学校跡地など屋内の施設に順次移行を検討する。

※ 建設工事までの暫定利用についても、地域内輸送拠点として位置づける。

(イ) 区内東部の中川エリアをはじめ他のエリアにも、地域内輸送拠点を設けるか否かについて、令和6年度を目途に検討していく。

【現在】災害拠点備蓄倉庫と地域内輸送拠点について

別紙 1

第二舎人拠点備蓄倉庫
設置年 S54.1.1
総面積 899.98㎡
浸水深 130cm

舎人拠点備蓄倉庫
設置年 S52.5.1
総面積 430.00 ㎡
浸水深 140cm

地域内輸送拠点
舎人公園

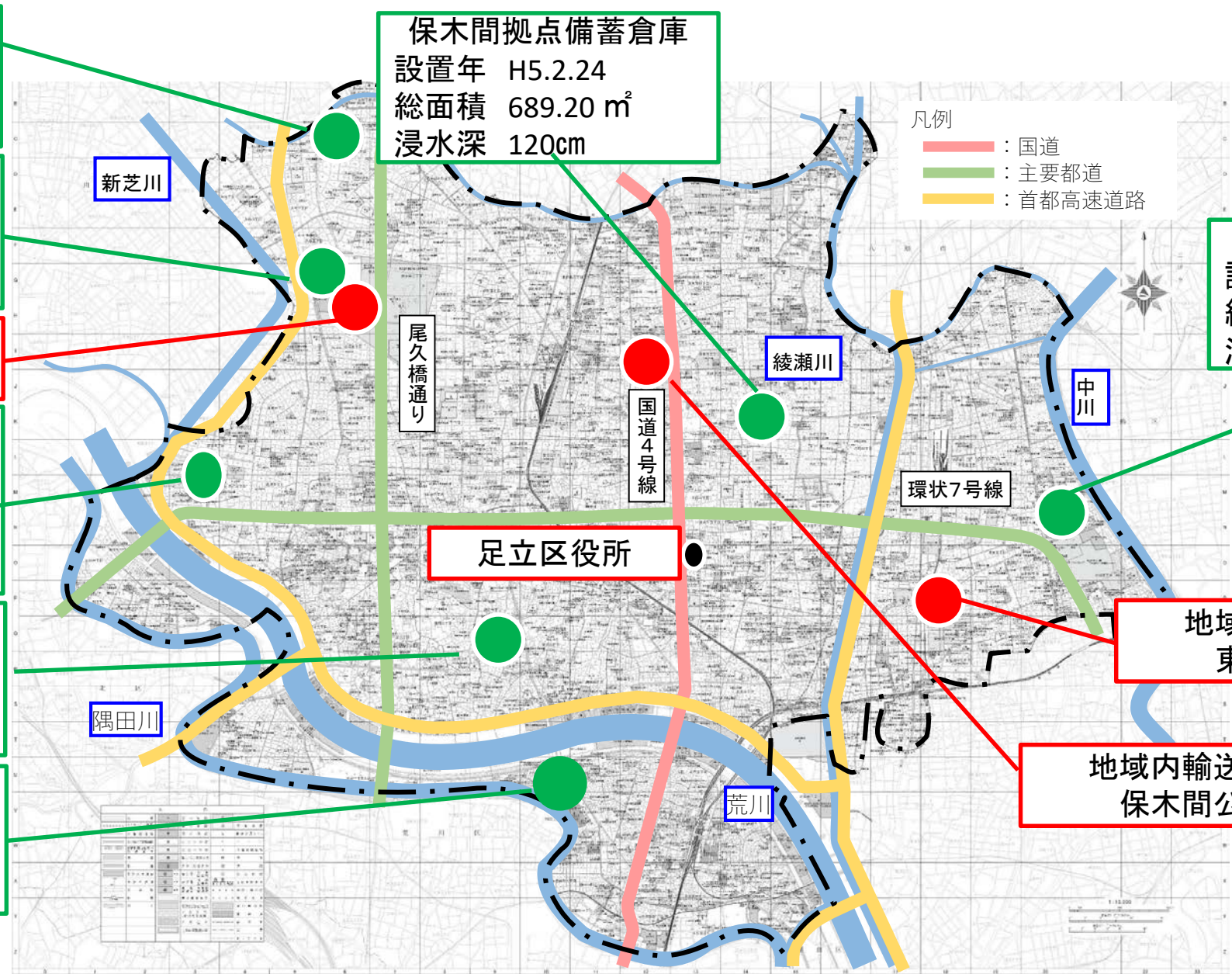
※鹿浜拠点備蓄倉庫
取り壊し予定
設置年 S50.3.1
総面積 144.00 ㎡
浸水深 430cm

興本拠点備蓄倉庫
設置年 S62.3.31
総面積 641.66 ㎡
浸水深 330cm

千住桜木拠点備蓄倉庫
設置年 S56.1.31
総面積 400.00 ㎡
浸水深 550cm

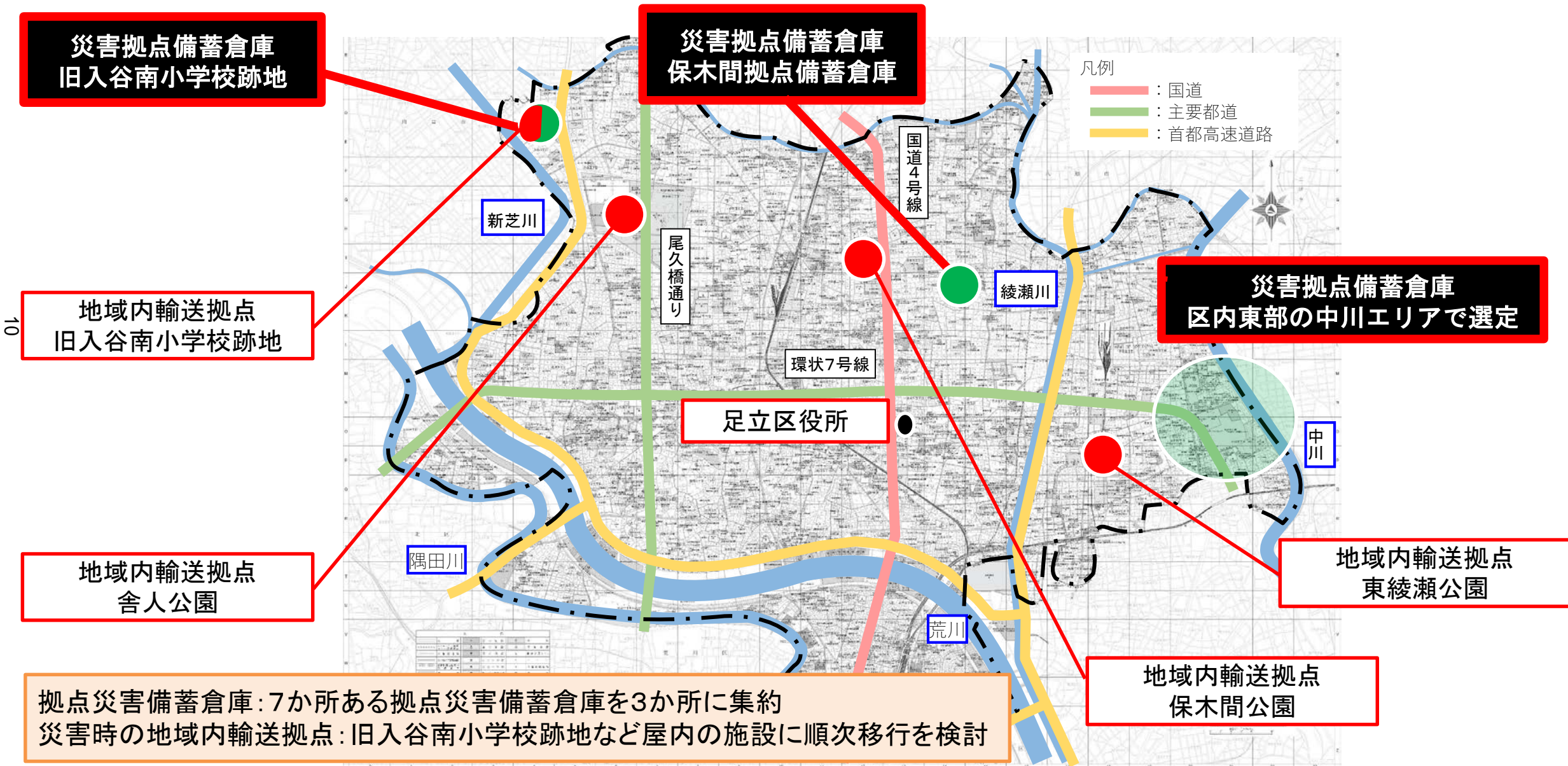
保木間拠点備蓄倉庫
設置年 H5.2.24
総面積 689.20 ㎡
浸水深 120cm

大谷田拠点備蓄倉庫
設置年 S52.3.31
総面積 313.77 ㎡
浸水深 460cm



凡例
— : 国道
— : 主要都道
— : 首都高速道路

● 災害拠点備蓄倉庫
● 地域内輸送拠点



災害・オウム対策調査特別委員会報告資料

令和5年12月15日

件名	令和5年度足立区震災対応図上訓練について
所管部課名	危機管理部 総合防災対策室 災害対策課、防災力強化担当課
内容	<p>令和5年度足立区震災対応図上訓練について、以下のとおり実施する。</p> <p>1 日時 令和6年1月26日（金）午後1時30分から午後5時まで</p> <p>2 訓練目的 (1) 情報収集指令室及び各部の応急対応力の向上 (2) 関係機関との連携強化 (3) 震災時の災害情報システムの活用</p> <p>3 実施場所 災害対策本部室（中央館8階）、情報収集指令室（南館7階）、各部執務室等</p> <p>4 訓練参加者及び人数 (1) 訓練部（プレーヤー） 約180名 副本部長、本部員（部長等）、副本部員（庶務担当課長等）、各部職員 (2) 統制部（コントローラー） 約60名 本部長（区長）、危機管理部及び各部訓練担当者 (3) 関係機関 約10名 都、区内4警察署・3消防署、自衛隊（陸上自衛隊第一師団第一普通科連隊第5中隊）</p> <p>5 訓練想定 (1) 令和4年5月の新たな被害想定である、都心南部直下地震（M7.3）にて足立区内の大部分が震度6強以上を観測 (2) 地震発生直後から3時間までの応急対策業務 (3) 災害情報システムを使用した被害情報等の収集・伝達 (4) 北千住駅前周辺での帰宅困難者の滞留対応や一時滞在施設の開設準備 (5) 大規模延焼火災等への対応</p> <p>6 関係機関との連携 (1) DISシステム（※）を用いた東京都との被害情報の報告・共有 (2) 防災行政無線等を使用した区内消防・警察各署、自衛隊との情報共有</p> <div data-bbox="306 1659 1433 2049" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">【本訓練イメージ図】</p> </div> <p>※ 都が災害時に被害情報等を収集し、災害対策活動等を行うためのシステム</p>

7 今後のスケジュール





日 時	項 目	備 考
1月 初旬	訓練事前説明会	訓練参加者全員
1月18日	庁議	訓練詳細説明
1月19日	事前訓練	情報収集指令室及び事前訓練参加希望部
1月26日	訓練当日	

8 今後の方針

震災時の災害情報システムの活用について、各部にヒアリングを行いながら、運用案を作成していく。

災害・オウム対策調査特別委員会報告資料

令和5年12月15日

件名	令和5年度足立区総合防災訓練の実施結果について
所管部課名	危機管理部 総合防災対策室 災害対策課、防災力強化担当課
内容	<p>令和5年度足立区総合防災訓練の実施結果を、次のとおり報告する。</p> <p>1 日時</p> <p>(1) 訓練部門 令和5年11月12日(日) 午前9時から正午まで</p> <p>(2) 周知・啓発部門 令和5年11月12日(日) 午前10時から午後3時まで</p> <p>2 主な実施場所</p> <p>(1) 訓練部門(別紙1参照) 本庁舎、第一次避難所(2箇所)、福祉避難所(10箇所)、医療救護所(1箇所)、動物救護所(1箇所)</p> <p>(2) 周知・啓発部門(別紙2参照) 都立舎人公園(舎人公園駅西側)</p> <p>3 実施内容</p> <p>(1) 訓練部門 地域防災計画に基づく行動要領及び災害協定締結団体等との連携強化を目的とした訓練</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>福祉避難所運営訓練 【障がい福祉センターあしすと】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>動物救護所訓練 【生物園】</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>第一次避難所運営訓練 【千寿双葉小学校】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>道路啓開(倒木撤去)訓練 【都立舎人公園】</p>  </div> </div>

(2) 周知・啓発部門

来場者の「自助」「共助」意識の醸成を目的とした「学び・体験し・考える」防災普及啓発イベント

会場入口の様子



関係機関出展ブースの様子



4 参加機関数

(1) 訓練部門

47機関

(2) 周知・啓発部門

50機関

5 来場者数 (周知・啓発部門)

約5,000人

6 反省点・今後の方針

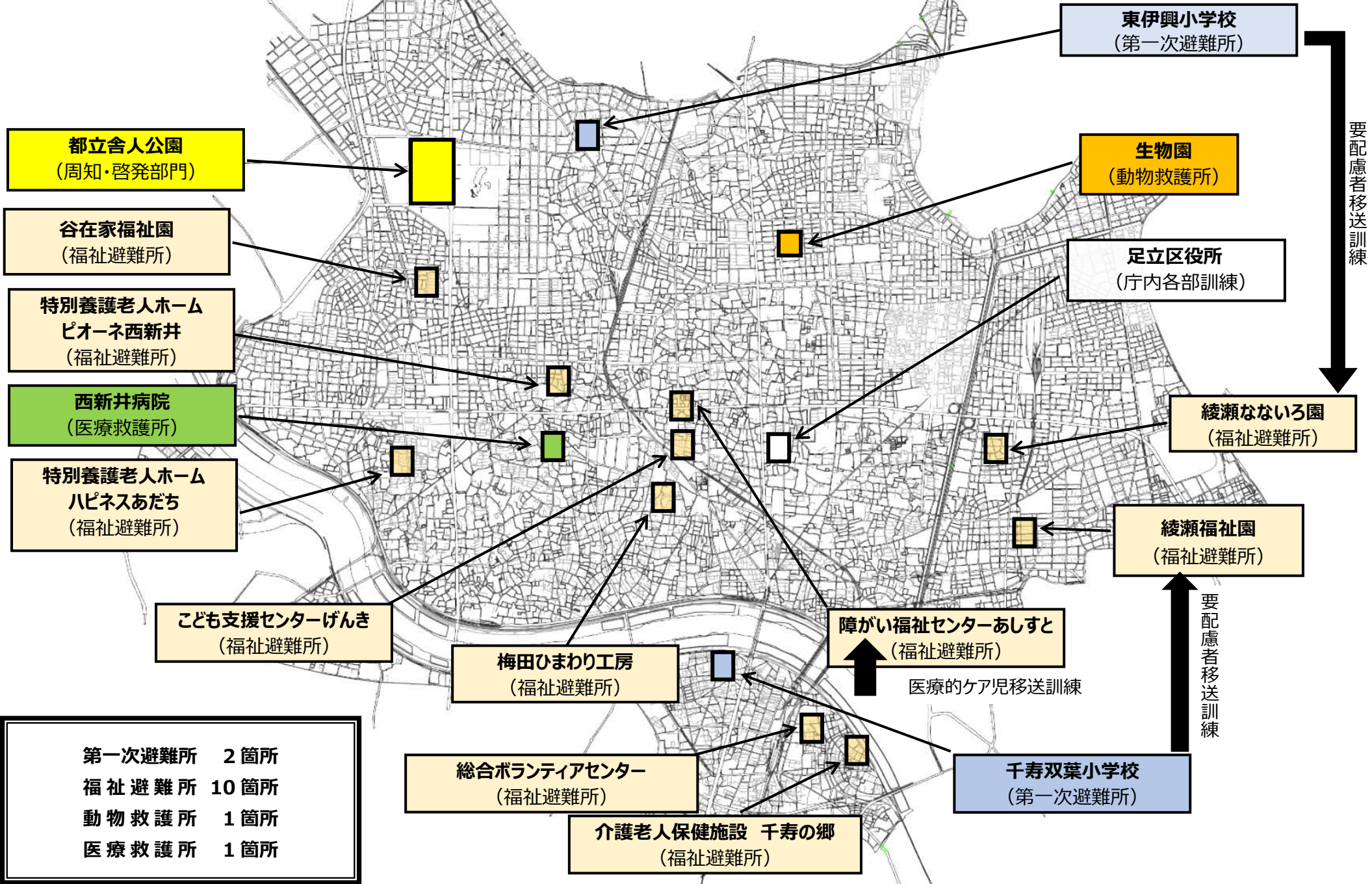
(1) 訓練部門

情報の収集・共有・伝達手段がアナログ（ホワイトボードや複写用紙等）であるため、災害情報システムによる運用を震災対応図上訓練で検証し、デジタル化への移行を目指す。

(2) 周知・啓発部門

より多くの集客を目指し、会場選定・レイアウト配置を検討する。

令和5年度 足立区総合防災訓練 主な会場





あたち防災力UP大作戦

～舎人公園会場エリアマップ～



災害・オウム対策調査特別委員会報告資料

令和5年12月15日

件名	住区まつりでのコミュニティタイムライン普及啓発の実施結果について												
所管部課名	危機管理部 総合防災対策室 調整担当課												
内容	<p>コミュニティタイムライン※（以下、「CTL」という。）を区民へ普及させるため、各住区まつりにて普及啓発の実施について、以下のとおり報告する。 ※ 水害時に取るべき行動や避難のタイミングについて、「いつ・誰が・何を するのか」を定めた事前防災行動計画。</p> <p>1 実施報告</p> <p>(1) 日時・対象地区・来客数（来客数はクイズ回答者数をもとにカウント）</p> <table border="1" data-bbox="336 775 1422 1144"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>対象地区</th> <th>来客数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年10月22日（日） 10時～13時頃</td> <td>千住第五地区 （千住柳町住区センター）</td> <td>210人</td> </tr> <tr> <td>令和5年10月22日（日） 10時～13時頃</td> <td>小台・宮城地区 （江南住区センター）</td> <td>165人</td> </tr> <tr> <td>令和5年10月29日（日） 9時半～13時頃</td> <td>本木・関原地区 （本木関原住区センター）</td> <td>153人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 啓発内容</p> <p>ア 来場された方にCTL関連の防災クイズを回答してもらった。 イ クイズに回答してもらう際に、CTLについて職員等で説明を行い、全問正解するよう理解を深めていただいた。 ウ クイズを回答した方や、足立区公式LINEアカウントを登録していない方には積極的に登録を促し、記念品を配付した。</p> <p>2 普及啓発の様子</p> <p>CTL防災クイズに挑む子どもたち</p>  <p>パネルにてCTLの説明</p> 	日時	対象地区	来客数	令和5年10月22日（日） 10時～13時頃	千住第五地区 （千住柳町住区センター）	210人	令和5年10月22日（日） 10時～13時頃	小台・宮城地区 （江南住区センター）	165人	令和5年10月29日（日） 9時半～13時頃	本木・関原地区 （本木関原住区センター）	153人
日時	対象地区	来客数											
令和5年10月22日（日） 10時～13時頃	千住第五地区 （千住柳町住区センター）	210人											
令和5年10月22日（日） 10時～13時頃	小台・宮城地区 （江南住区センター）	165人											
令和5年10月29日（日） 9時半～13時頃	本木・関原地区 （本木関原住区センター）	153人											

3 普及啓発における来場者の反応

- (1) C T Lについて、名称は知っているが内容を理解している方があまりいなかった。
- (2) C T Lの説明をしている際に、水害時に行動計画通りの動きができるか不安に思っている方が多数見受けられた。

4 今後の課題や取り組みについて

- (1) C T Lを知ってもらうために、引き続き、このようなイベントで積極的に普及啓発していく必要がある。
- (2) 知ってもらうだけでなく、水害時を想定して行動できるよう今後は地域住民と実践を想定した訓練などのフォローアップにも力を入れていく。